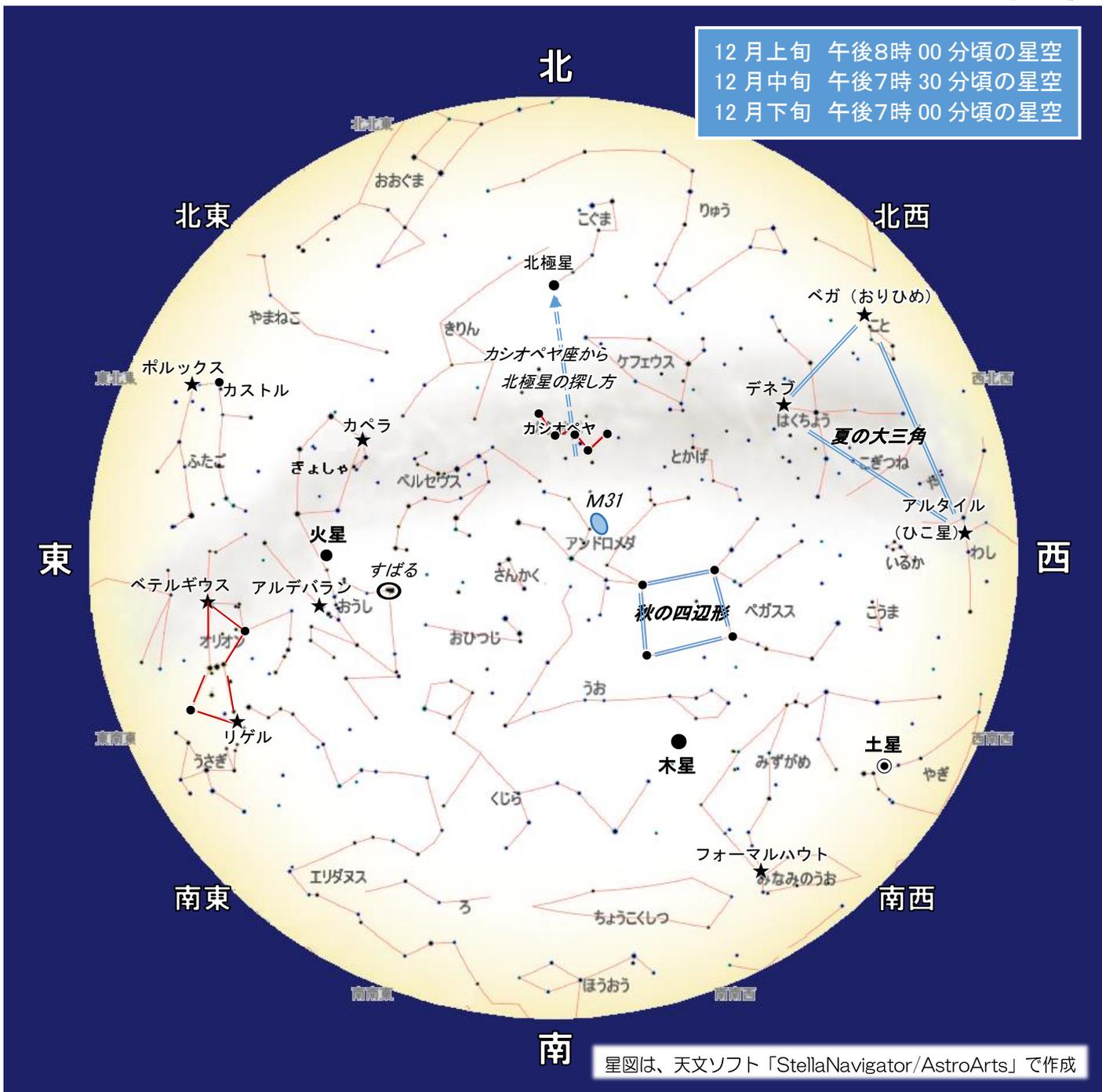


# 2022年 12月の星空案内



12月上旬 午後8時00分頃の星空  
 12月中旬 午後7時30分頃の星空  
 12月下旬 午後7時00分頃の星空



星図は、天文ソフト「StellaNavigator/AstroArts」で作成

## 【12月の星空 と ふたご座流星群】

22日が冬至。夜が長いので、たくさんの星座を観察できます。日没後しばらくは、まだ西の空に『夏の大三角』が見えています。天頂付近には、ペガサス座の『秋の四辺形』が見えます。東の空からは、ぎょしゃ座、おうし座、ふたご座、オリオン座など 1等星を持つ冬の星座たちが昇ってきます。

14日22時を極大予想(天文年鑑)とする「ふたご座流星群」は三大流星群の1つです。月が21時48分に昇ってくるので、空が暗くなってから月の出までがおすすです。放射点は双子座のカストルの辺りですが、四方八方に飛ぶので空全体を見ると良いでしょう。

## 【「火星」が地球に接近】

地球のすぐ外側をまわる火星は、約2年2か月ごとに地球に接近します。楕円軌道のため、接近の位置によって地球との距離が大きく変わり、今回は8,145万kmで中接近と呼ばれています(前回2020年10月は6,207万km)。明るく(最接近時-2等級)オレンジ色に輝く火星ですが、この程度の接近では、小型望遠鏡で表面の様を観察するのは難しそうです。